

令和元年度～令和4年度 文部科学省研究開発学校

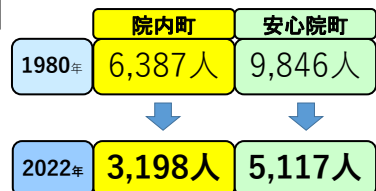
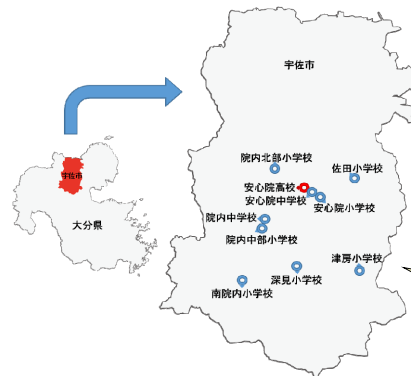
研究開発課題

新教科「地球未来科」の充実と、
「地球未来科」で身に付けた力を生かしながら、
各教科で異年齢の協働的な学びを行い、
主体的な学びの育成を目指す

日時：令和5年1月18日（水）
大分県立安心院高等学校 外9校

安心院・院内地域について

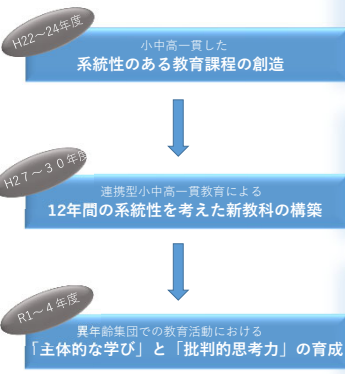
【連携10校の位置関係】



宇佐市の高齢化率
36.6%

生徒数の減少が著しい!

世界基準の「確かな学力」を育成する
◇ 研究開発13年の概要 (H22～R4)



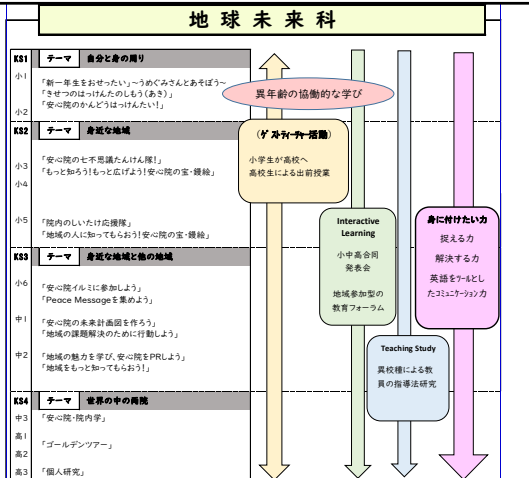
【研究の柱】
世界基準の「確かな学力」を育成する手立ての探究
【研究の切り口】
「読解力」を基盤とした「リテラシー」の獲得
【研究の方向性】
「思考力・判断力・表現力」育成を目指す「系統的教育課程」の開発

【研究の柱】
グローバル社会を「主体的」に生きる子どもを育成する手立ての探究
【研究の切り口】
新教科「地球未来科」の設置
【研究の方向性】
「地球未来科」に係る「系統的教育課程」「指導方法」「評価」の中小高12年間を通した研究

【研究の柱】
異年齢集団における「主体的な学び」「批判的思考力」を育成する手立ての探究
【研究の切り口】
ST活動・ML活動 などKEY STAGE・校種をつなぐ教育活動
【研究の方向性】
地方創生・地域創造を踏まえた「地球未来科」との「教科横断的探究活動」

1期の概要 (H27～30年度)

研究主題
社会の諸問題を捉えて関わろうとする意欲をもち、論理的に思考し解決する力とコミュニケーション力を駆使し、グローバル社会を主体的に生きようとする児童生徒の育成
～捉える力（関わる力）、解決する力、英語をツールとしたコミュニケーション力をつなぐ地球未来科の実践と検証を通して～



1期の成果

KEY STAGE
制の導入

身に付けたい
力一覧

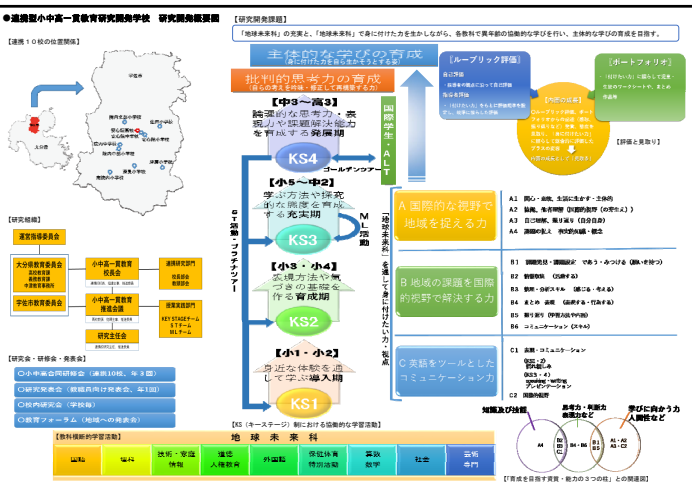
12年間
系統立てた
評価規準
の作成

学年	自己形成の意図	個性化された学び	未来志向の学び
1年	基礎的学力の育成	基礎的学力の育成	基礎的学力の育成
2年	基礎的学力の育成	基礎的学力の育成	基礎的学力の育成
3年	基礎的学力の育成	基礎的学力の育成	基礎的学力の育成
4年	基礎的学力の育成	基礎的学力の育成	基礎的学力の育成

1期の課題

- 「異年齢・異学年集団」の学びによる効果の検証
- 「主体的な学びの姿」とは？
- ルーブリック評価から見とれない「内面の成長」をどのように見とるか

2期の概要 (R1~4年度)



2期の研究課題

新教科「地球未来科」の充実と「地球未来科」で身に付けた力を生かしながら、各教科で異年齢の協働的な学びを行い、主体的な学びの育成を目指す。



研究の柱

- ①異年齢・異学年集団の協働的な学びの実践による「主体的な学び」と「批判的思考力」の育成
- ②児童生徒の変容をみとるための適切な目標設定と系統的なルーブリック評価、ポートフォリオの改善
(文章記述による主体性の評価、内面の成長のみと)

主体的な学びの姿

地球未来科における「主体的な学びの姿」の定義

地球未来科で身に付けた力を
自ら生かそうとする姿

主体的な学びの姿の評価規準

振り返りの記述内容
から評価

KEY STAGE 1・2 (小1～小4)

振り返りを通して身に付けた力を自覚することで自分の成長に気づくことができる。

KEY STAGE 3・4 (小5～高3)

振り返りを通して身に付けた力を自覚することで自分の可能性に気づき、他の学習活動や進路選択等将来の生き方に生かそうとする。

批判的思考力

地球未来科における「批判的思考力」の定義

自分の考えを他者や他地域と比べる
(多面的・多角的に捉える) ことを通して、自らの考えを吟味・修正して再構築する力

批判的思考力の評価

段階	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2
視点	身近な体験を通して学ぶ導入期		表現方法や気づきの基礎を作る育成期			学ぶ方法や現実的な態度を育成する充実期		
視点	自分と身の周り		身近な地域			身近な地域と他の地域		
付けたい力・視点 (新学習指導要領における目指す資質・能力)	具体的に付けたい力・何ができるようになるか(地球未来科が目指す各段階での具体的児童)							
1 問題発見 (気づかせる)	イ	対象との違いや具体的な活動や体験を通して、自分の気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	身近な学習の中心となる活動や体験を通して、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。
2 問題解決 (話し合う)	ア	「なぜ?」と問いかける。理由、根拠、事実などについて、自分の考えを述べ、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。
3 整理・分析 スキル (話し合う)	ア	「なぜ?」と問いかける。理由、根拠、事実などについて、自分の考えを述べ、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。	目的に応じて学習を深めて、自分たちの気づきや疑問をもち、 「なぜ?」と問いかける。

身に付けたい力一覧表の「解決する力」③整理・分析スキルで評価

異年齢・異学年集団による協働的な学び

ST (Student Teacher) 活動

主体的な学びの育成

高校生が先生役として小学生に教える活動

ML (Middle Leader) 活動

批判的思考力の育成

小学6年生と中学1年生の交流会や発表会で意見交換
(KEY STAGE3 の活動)

ST活動実践例

令和4年度に実施した地球未来科のST活動	
内容	対象
プラチナツアー	安心院地区の小学校4年生と高校2年生
大根・白菜の栽培	小学校2年生と高校園芸マネージメントコース2年生
ブドウの栽培	小学校2年生と高校園芸マネージメントコース3年生

令和4年度に実施した教科によるST活動			
教科・科目	内容	高校生	小学生
理科・生物基礎	光学顕微鏡で生き物を観察しよう	一般コース2年生	6年生、4・5年生
商業・簿記	安心院BOKI★ゲーム	情報会計コース2年生	5年生
地理歴史・地理B	地図やGISから防災を考えよう	一般コース2年生	4年生
家庭・発達と保育	高校生とクリスマスリースをつくらう	子どもの発達と保育選択3年生	1年生

ST活動 地球未来科:プラチナツアー のカリキュラム

カリキュラム
マネジメント

単元	学習内容	学習活動	到達目標(学習到達目標)		単元	学習活動	到達目標(学習到達目標)	
			知識・技能	思考力・判断力・問題解決力			知識・技能	思考力・判断力・問題解決力
環境と地球未来科	地球未来科の学習内容	地球未来科の学習活動	A1	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習活動	B1	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B1	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B2	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B2	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B3	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B3	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B4	地球未来科の学習内容について理解を深め、
環境と地球未来科	地球未来科の学習内容	地球未来科の学習活動	A2	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習活動	B4	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B4	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B5	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B5	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B6	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B6	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B7	地球未来科の学習内容について理解を深め、
環境と地球未来科	地球未来科の学習内容	地球未来科の学習活動	A3	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習活動	B7	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B7	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B8	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B8	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B9	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B9	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B10	地球未来科の学習内容について理解を深め、
環境と地球未来科	地球未来科の学習内容	地球未来科の学習活動	A4	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習活動	B10	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B10	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B11	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B11	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B12	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B12	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B13	地球未来科の学習内容について理解を深め、
環境と地球未来科	地球未来科の学習内容	地球未来科の学習活動	A5	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習活動	B13	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B13	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B14	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B14	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B15	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B15	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B16	地球未来科の学習内容について理解を深め、
環境と地球未来科	地球未来科の学習内容	地球未来科の学習活動	A6	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習活動	B16	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B16	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B17	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B17	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B18	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B18	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B19	地球未来科の学習内容について理解を深め、
環境と地球未来科	地球未来科の学習内容	地球未来科の学習活動	A7	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習内容について理解を深め、	地球未来科の学習活動	B19	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B19	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B20	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B20	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B21	地球未来科の学習内容について理解を深め、
			B21	地球未来科の学習内容について理解を深め、			B22	地球未来科の学習内容について理解を深め、

ML活動年間計画

ML活動の年間指導計画

	①交流につながる活動	②交流会	③地区別発表会	④全体交流会
活動時期	1学期	7月～1月	2月上旬	5月
活動学年	小学6年生と中学1年生			中学1,2年生
活動範囲	各小学校別			学年全体
活動場所	各小学校、ZOOM			中学校

ML活動

カリキュラムマネジメント

学年	学期	活動	評価	学年	学期	活動	評価	学年	学期	活動	評価
小学6年	1	1 学習活動 基礎知識を小学校の学習から 復習・確認しながら学習する。	D-10 D-11	小学6年	2	2 学習活動 学習の進捗を確認して、個別に 指導を行う。必要に応じて 追加の学習を行う。	D-10 D-11	小学6年	3	3 学習活動 学習の進捗を確認して、個別に 指導を行う。必要に応じて 追加の学習を行う。	D-10 D-11
小学6年	1	1 学習活動 基礎知識を小学校の学習から 復習・確認しながら学習する。	D-10 D-11	小学6年	2	2 学習活動 学習の進捗を確認して、個別に 指導を行う。必要に応じて 追加の学習を行う。	D-10 D-11	小学6年	3	3 学習活動 学習の進捗を確認して、個別に 指導を行う。必要に応じて 追加の学習を行う。	D-10 D-11
小学6年	1	1 学習活動 基礎知識を小学校の学習から 復習・確認しながら学習する。	D-10 D-11	小学6年	2	2 学習活動 学習の進捗を確認して、個別に 指導を行う。必要に応じて 追加の学習を行う。	D-10 D-11	小学6年	3	3 学習活動 学習の進捗を確認して、個別に 指導を行う。必要に応じて 追加の学習を行う。	D-10 D-11

児童・生徒による目標設定

単元始めシート

【KEY STAGE 2】地球未来科 単元始めシート (学校) () 月 () 日

【 編 修 者 】

単元名 全体交流会 めあて 全体交流会で小学校校区のことを伝え、他校区のこと
を伝えよう。

1. めあてについて、これまで学習したこと、知っていること

① 目標設定に必要となる「アイコンタクト、大きい声、相手に伝わりやすいように
する、間を取る、聞くときに大切なこと-相手の目を見る、膝きながら聞く、**意図
を伝える**、**3種類の伝え方**」を身につける。
② **活動の振り返り**について、**3種類の振り返り**について

2. この単元でやってみたいこと、知りたいたいこと、できるよになりたいこと

他の学校の学習と**まじりあう活動**を身につけたいです。自分か
持っているという部分は伝えをもち、その考えを**伝えたい人が、家庭(先生)に
伝える**ことです。**意図の伝え方**を身につけたいです。もしも色々な人と
仲良くしたいです。

【単元シートの記入方法例】

1. 単元の振り返り
① 「振り返りシート」を準備する。
② 意図の伝え方の「記録1」に記入し、準備する。
③ 単元の振り返りシートを準備する。
④ 単元の振り返りシートを準備する。

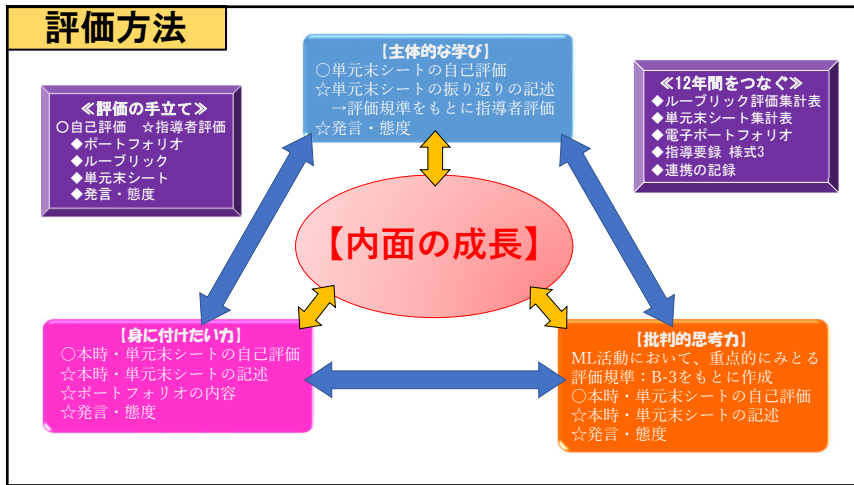
2. 単元の振り返り
① 「振り返りシート」の振り返りシートを準備する。
② 意図の伝え方の「記録1」に記入し、準備する。
③ 単元の振り返りシートを準備する。
④ 単元の振り返りシートを準備する。

児童・生徒による目標設定

つけたい力表

地球未来科でつけたい力表【院内中1・2年生 (KS3)】

力	1	2	3	4	5
Aの力	自分から地域に 関わる力	自分から地域に 関わる力	自分から地域に 関わる力	自分から地域に 関わる力	自分から地域に 関わる力
Bの力	課題を設定する力	課題を設定する力	課題を設定する力	課題を設定する力	課題を設定する力
Cの力	外国語を使って、 表現する力	外国語を使って、 表現する力	外国語を使って、 表現する力	外国語を使って、 表現する力	外国語を使って、 表現する力



KEY STAGE 3

単元末シート

**身に付けたい力
ルーブリック評価**

**主体的な学び
記述のみとり**

ルーブリック評価	S	A	B	C	評価
身に付けたい力	ルーブリック評価 の観点から 評価が なされた	ルーブリック評価 の観点から 評価が なされた	ルーブリック評価 の観点から 評価が なされた	ルーブリック評価 の観点から 評価が なされた	
主体的な学び	ルーブリック評価 の観点から 評価が なされた	ルーブリック評価 の観点から 評価が なされた	ルーブリック評価 の観点から 評価が なされた	ルーブリック評価 の観点から 評価が なされた	

KEY STAGE 4 高校 リフレクションシート

**身に付けたい力
ルーブリック評価**

身に付けたい力等	S	A	B	C	自分の評価	教員の評価
外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。外国の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。		
相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。		
相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。	相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。相手の文化や習慣の異なる国や地域へ行ってみたい。		
身に付けたい力を具体的に挙げて、自分の学習活動や進路選択の観点から、どのように活かすのか具体的に述べている。	身に付けたい力を具体的に挙げて、自分の学習活動や進路選択の観点から、どのように活かすのか具体的に述べている。	身に付けたい力を具体的に挙げて、自分の学習活動や進路選択の観点から、どのように活かすのか具体的に述べている。	身に付けたい力を具体的に挙げて、自分の学習活動や進路選択の観点から、どのように活かすのか具体的に述べている。	身に付けたい力を具体的に挙げて、自分の学習活動や進路選択の観点から、どのように活かすのか具体的に述べている。		

KEY STAGE 4 高校 サマリーポートフォリオ

**主体的な学び
記述のみとり**

プラチナツアー

①小学生に「外国人と安心感の力を伝えたい」と思ってもらった。 (後援との比較や日本・安心感の文化を伝えるなど) (A-4)

②「トイ」や「おもちゃ」などの観点から小学生に伝えたい。 (後援との比較や日本・安心感の文化を伝えるなど) (B-4)

③安心感小学校との協働の振り返り

④他校・他県・他国小学校との協働の振り返り

⑤単元の振り返り (G・T・Pを通して身に付けたい力を具体的に記入し、それを今後どの場面でものように活かしたいか記入しよう) ※実際の評価基準を参考に振り返りがもらえるような振り返りを行おう。【主体的な学び】

12年間の学び(ポートフォリオ)

KEY STAGE 2

小4活動1 捉える力 生徒評価	小4活動1 解決する力 生徒評価	小4活動1 英語 生徒評価	小4活動1 記述 I	小4活動1 記述 II	小4活動1 生徒記述 めざす姿 生徒評価	学校名
S	S		御野さんに質問した。メモをした。	御野さんの話を聞いて石橋のことをいろいろ学びました。鳥居橋も知りたいたい。	S	院内北部小
S	S		調べたことを新聞に書いた。	分かったことを新聞にまとめられた。日本の石橋を見たい。	S	院内北部小
S	S		調べたことを新聞に書いた。	御野橋についていろいろことが分かってよかった。石橋の作り方もっと知りたいたい。	S	院内北部小
S	S		御野さんに質問した。メモをした。	御野さんが御野橋の掃除をしていてびっくりした。御野さんは全部の質問に答えていたのすごいと思った。質問できてよかった。	S	院内北部小
S	S		御野さんの話をメモできた。	御野橋を知ることができてよかった。石橋の名前を覚えていた。あと、全部の石橋に行ってみたい。	S	院内北部小
S	S		人に質問できるようにになった。タブレットや本で情報集めた。実際に取材できた。マトリクス・クラゲ・コンプトマップ・WL・産種輪・イメージマップ・熊手Cを使えるようになった。	いろいろな野草を調べられた。野草の写真を山に取りに行ったりして楽しかった。	A	佐田小
S	S		しつもんできるようにになった。書になる草のじょうほうを集められた。取材したい人になれた。	ほかの思考ツールを使ってみた。	S	佐田小
S	S		タブレットを使って野草を調べることができた。取材ができた。実際に調査することができた。	野草はいろいろあって楽しかった。熊手チャートで調べることができた。	A	佐田小
S	S		実際に取材することができた。クラゲチャートを使えるようになった。	野草調べをして、知らない野草を知ることができた。次はいろいろな思考ツールを使ってみたい。	S	佐田小
S	S		人に聞くことが苦手だったけど、取材をやったらできるようになった。	思考ツールを使ってじょうほうを集めることができてうれしかった。	S	佐田小
A	A		情報の集め方や整理の仕方がわかり、上手にまとめた。	深見のじまをたくさん見つけ、上手にパンフレットづくりができた。	S	深見小
S	A		情報の集め方や整理の仕方がわかり、上手にまとめた。	深見のじまをたくさん見つけ、楽しくパンフレットづくりができた。	S	深見小

ST活動例①

小2(地球未来科) 高校園芸マージメントコース

<種まき>



大根の種をまくのは、間をあけた方がいいよ。



教えてもらったように できるかな。

<収穫>



「両手でまっすぐ引くといいよ。」



どのくらい長くなっているかな。



大きく育ったなあ。



「重さを測ってみようか。」

<高校生へのプレゼント>



最後は、2年生が自分たちで考えた「プレゼントミッション」大根ミッションでお世話になった高校生へありがたい気持ちを込めて手紙や歌をプレゼントしました。

ST活動例②

小4（地球未来科） 高2（地球未来科）

7月

事前交流会：小学生にアドバイス



英単語カードの提示
次回までに覚えておこう



11月

プラチナ77-開始



高校生の評価



次のツアーへ出発！



楽しいクイズ



ST活動その他

各教科によるST活動



理科・生物基礎
光学顕微鏡で
生き物を
観察しよう



地理歴史・地理B
地図やGPSから
防災を考えよう

商業・簿記
安心院
BOKI★ゲーム



ML活動

全体交流会（5月）

中学1年生と中学2年生との交流



1年生が校区の魅力を発表



2年生から質問や評価をもらう

ML活動

小学生への発表（6月）

中学1年生が小学6年生に発表



1年生が発表し、6年生に発表の仕方や資料の作り方を見てもらう



6年生は今後の活動の見通しを持つ

ML活動

小学生の発表テーマを知る（7月）



Zoomを利用して、グループごとにテーマについての交流



ML活動

交流会①（10月）

中学1年生が小学6年生にアドバイス



中学1年生がPMIシートをもとに、小学6年生にアドバイスをを行う



交流会②（11月）

交流会①の反省で会話ができるように「なぜ?」「これはどお?」の質問を意識



分析

「身に付けたい力」のルーブリック評価

KEY STAGE 1

【A捉える力】 (%)	
1回目	2回目
A 96	96
B 4	4
C 0	0

【B解決する力】 (%)	
1回目	2回目
A 74	88
B 26	12
C 0	0

【C英語をツールとしたコミュニケーション力】 (%)		
A	B	C
65	30	5

KEY STAGE 3

【A捉える力】 (%)		
	1回目	2回目
S	35	62
A	55	31
B	7	7
C	3	0

【B解決する力】 (%)		
	1回目	2回目
S	53	67
A	37	26
B	10	7
C	0	0

※同じ単元活動の中でとったルーブリック1回目(初めの頃)と2回目(終わりの頃)
【C英語をツールとしたコミュニケーション力】は年間の活動の中の1回

KEY STAGE 2

【A捉える力】 (%)	
1回目	2回目
S 24	28
A 44	44
B 32	28
C 0	0

【B解決する力】 (%)	
1回目	2回目
S 42	53
A 27	25
B 21	22
C 0	0

【C英語をツールとしたコミュニケーション力】 (%)			
S	A	B	C
21	57	15	7

KEY STAGE 4

【A捉える力】 (%)				
	高1	高2		
	探究1	探究2	探究3	
A	39	19	3	31
B	10	10	75	2
C	2	0	0	0

【B解決する力】 (%)				
	高1	高2		
	探究1	探究2	探究3	
S	24	36	38	13
A	25	45	51	76
B	44	17	9	10
C	2	2	3	1

※同じ単元活動の中でとったルーブリック1回目(初めの頃)と2回目(終わりの頃)
【C英語をツールとしたコミュニケーション力】は年間の活動の中の1回

分析 主体的な学び

KEY STAGE 3

母に付けた力 (できるようになったこと)
課題や問題を見つけて どう解決していくか、なにをやるか、考える力

どんなところでいかにしたいか (次にしてみたいこと)
異文化や異文化の課題や問題に対して、解決方法を考える、問題にしたい

母に付けた力 (できるようになったこと)
異文化や異文化の課題や問題に対して、解決方法を考える、問題にしたい

どんなところでいかにしたいか (次にしてみたいこと)
異文化や異文化の課題や問題に対して、解決方法を考える、問題にしたい

【指導者評価】 (%)

	小6	中1
S	16	42
A	78	47
B	6	11
C	0	0

今後の地球未来科以外の学習活動に生かしたい

地球未来科以外の学習活動に生かしたい

分析 主体的な学び

KEY STAGE 4

①小学生に「外国人に安心感の能力を伝える」と題して、自分自身の経験や知識を伝えるための工夫を考えた。【B-C】

②パワーポイントや動画で小学生に伝えるために工夫したことをまとめた。【B-C】

③それぞれの小学生の見方・考え方について気づきました。

④それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑤それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑥それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑦それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑧それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑨それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑩それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑪それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑫それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑬それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑭それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑮それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑯それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑰それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑱それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑲それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

⑳それぞれの小学校とのツアーで、どんなQ&Aをしましたが、【C-1】

【指導者評価】 (%)

S	44
A	56
B	0
C	0

進路学習

就職後の活動

個人研究

学習活動

生かしたい!

研究開発の成果

①主体的な学びの育成 → S T 活動は主体的な学びの育成に効果あり
高校生…「小学生に理解してもらうために工夫したい！」
小学生…「高校生のようになりたい！」

②批判的思考力の育成 → M L 活動は批判的思考力の育成に効果あり
中学生…「小学生に思いを伝えながら、資料の改善ができた」
小学生…「自分の思いを伝えきれなかった！もっと調べたい」

③児童・生徒による目標設定 → 主体的な学びにおいて有効
達成意識が高まり、見通しを持って主体的に学習に取り組めた

④ルーブリック評価・ポートフォリオの記述のみとり → 児童・生徒の成長を客観視
ルーブリック評価により自己の成長を自覚し、次の活動に活かそうとする姿が見られた

⑤地球未来科で育成した「主体的な学びの姿」 → 将来の生き方に繋げる
地球未来科で育成した「主体的な学び」が進路開拓につながっている

研究開発の課題

●異年齢・異学年集団との協働的な学び
→複数回実施するには時間と予算が必要

●S T 活動 →対象を中学生にも広げることも検討
高校生の学びの専門性を生かすため

●M L 活動 →小学6年生と中学2年生の活動にすることを検討
更なる効果を得るため、思考レベルの上がる中学2年生との交流の方が効果的

地球未来科で育成した「主体的な学び」の姿

